



Y.Takahashi

## THE KOKURA HIMBA STAKES

## 第1回 小倉牝馬ステークス (GⅢ)

本賞	1着 26,500,000円	3着 9,500,000円	4着 5,700,000円	5着 3,800,000円
付加賞	419,000円	93,000円		
	419,000円			



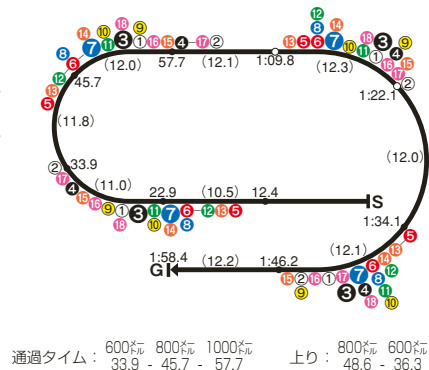
レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

牝、4歳以上、2024.1.20以降2025.1.19まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 ハンデキャップ

2025.1.25 小倉 晴・良 芝2000m (国産) (特指)

順	馬名	性	年	斤	騎	タイム (管差)	コーナ 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーテ
1	フェアエールンク	牝	5	53	丹内祐次	1:58.4	9-8-7-6	35.6	456(+12)	14.4	和田正一郎(美浦)	104
1	シンティレーション	牝	5	55	杉原誠人	同着	12-12-12-8	35.3	478(+2)	7.8	池上昌和(美浦)	108
3	コガネノソラ	牝	4	55	横山武史	1	12-12-12-15	35.5	460(+14)	12.4	菊沢隆徳(美浦)	108
4	オーロラエックス	牝	4	51	松山弘平	1/2	16-16-14-15	35.3	490(±0)	3.7	杉山晴紀(栗東)	99
5	エミュー	牝	5	53	佐々木大輔	クビ	14-14-14-11	35.4	434(+2)	164.7	和田正一郎(美浦)	
6	クイーンズウォーク	牝	4	55.5	川田将雅	ハナ	6-6-4-2	36.2	534(+10)	3.5	中内田充正(栗東)	
7	キミノナハマリア	牝	5	54	鮫島克駿	1/2	14-14-14-11	35.5	504(-2)	14.3	千田輝彦(栗東)	
8	セントカメリア	牝	6	53	北村友一	アタマ	17-17-18-17	35.2	460(-2)	52.3	高野友和(栗東)	
9	コスタボニータ	牝	6	56	藤岡佑介	クビ	5-5-4-4	36.4	474(-8)	15.9	杉山佳明(栗東)	
10	エンバィアウエスト	牝	6	53	丸山元気	ハナ	7-6-7-5	36.1	504(-6)	42.9	黒岩陽一(美浦)	
11	ゴールドエクリプス	牝	6	52	田口貴太	1/2	7-8-9-8	36.2	498(±0)	43.3	大久保龍志(栗東)	
12	エリカヴィータ	牝	6	53	池添謙一	3/4	10-10-9-11	36.3	466(+2)	85.9	国枝 栄(美浦)	
13	コンクシェル	牝	5	55	岩田望来	3/4	4-4-2-1	37.1	476(+4)	44.2	清水久詞(栗東)	
14	アスコルティアモ	牝	5	54	津村明秀	1	10-10-11-11	36.5	456(+4)	21.8	林 徹(美浦)	
15	グランスラムアスク	牝	6	52	荻野 極	2 1/2	3-3-4-8	37.5	466(-10)	91.5	矢作芳人(栗東)	
16	アリスヴェリテ	牝	5	53	栗田裕一郎	1 1/4	2-2-2-6	37.9	470(-)	9.7	中竹和也(栗東)	
17	ベリーヴィーナス	牝	6	52	藤懸貴志	4	1-1-1-2	38.8	504(-6)	98.3	鈴木孝志(栗東)	
18	ウレハミノコ	牝	5	50	永島まなみ	6	18-18-17-18	38.5	458(-10)	46.7	武 英智(栗東)	

単勝③680円(7%) ⑦410円(3%) 複勝③390円(7%) ⑦300円(3%) ⑬380円(6%) 枠連②-④5,240円(24%)  
馬連③-⑦4,810円(18%) ワイド③-⑦1,450円(13%) ③-⑬2,180円(25%) ⑦-⑬1,670円(19%)  
馬単③-⑦5,960円(38%) ⑦-③5,000円(33%) 3連複③-⑦-⑬16,680円(60%)  
3連単③-⑦-⑬61,330円(398%) ⑦-③-⑬48,330円(312%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m  
33.9 - 45.7 - 57.7 48.6 - 36.3

# フェアエールング *Verehrung*

牝 芦毛 2020.3.18生

北海道新冠町 ビッグレッドファーム生産

馬主・株サブラレッドクラブ・ラフィアン 美浦・和田正一郎厩舎

馬名意味・尊敬(独)

フロリースカップGB系 F3-I

ゴールドシップ 芦毛 2009	ステイゴールド 黒鹿毛 1994	サンデーサイレンスUSA ゴールドンサッシュ
	ポイントフラッグ 芦毛 1998	メジロマックイーン バストラリズム
マイネボリーヌ 黒鹿毛 2002	スペシャルウィーク 黒鹿毛 1995	サンデーサイレンスUSA キャンベンガール
	マイネミレー 黒鹿毛 1984	マルゼンスキー オカノブルー

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S3×M3  
マルゼンスキー M3×M4

## 父ゴールドシップ

北海道日高町 出口牧場生産 中央、仏28戦13戦(皐月賞<sup>G1</sup>、菊花賞<sup>G1</sup>、有馬記念<sup>G1</sup>、天皇賞(春)<sup>G1</sup>、宝塚記念<sup>G1</sup>2回、阪神大賞典<sup>G3</sup>3回、神戸新聞杯<sup>G2</sup>、共同通信杯<sup>G3</sup>、最優秀3歳牡馬、16年から供用

[代表産駒] ユーバーレーベン(オックス<sup>G1</sup>)、メイショウタビル(神戸新聞杯<sup>G2</sup>、毎日杯<sup>G3</sup>)、ウインキートス(目黒記念<sup>G2</sup>)、ゴールドンハインド(フローラS<sup>G3</sup>)、ウインマイティ(マーメイドS<sup>G3</sup>、忘れな草賞・L、オックス<sup>G1</sup>3着)、コガネノソラ(クイーンS<sup>G3</sup>)、フェアエールング(本馬)、ブラックホール(札幌2歳S<sup>G3</sup>)、マイネルグロン(中山大障害J<sup>G1</sup>、阪神スプリングジャンプJ<sup>G3</sup>)、マイネルラウレア(若駒S・L)、プリュムドール(ステイヤーズS<sup>G2</sup>2着)、サトノゴールド(札幌2歳S<sup>G3</sup>2着)、ウインビクシス(クイーンS<sup>G3</sup>2着)、メイショウブレゲ(京都大賞典<sup>G3</sup>3着)、マイネルエンペラー(日経新春杯<sup>G3</sup>3着)、マカオンドール(京都新聞杯<sup>G3</sup>3着)、コスモブッドレア(京成杯<sup>G3</sup>3着)

## 母マイネボリーヌ

北海道静内町 ビッグレッドファーム生産 中央2戦0勝。24年用途変更

マイネルクロッシュ(06 牡父アグネスデジタルUSA)中央11戦0勝、地方14戦1勝  
マイネルパシケル(07 牡父ロージズインメイUSA)中央13戦1勝、地方33戦2勝  
マイネルバルビゾン(09 牡父アグネスデジタルUSA)中央5戦0勝、地方243戦23勝(岩鷲賞、栗駒賞3着)  
ドクトルローズ(10 牡父ロージズインメイUSA)地方16戦1勝  
マイネグレヴィル(11 牡父ブライアンズタイムUSA)中央33戦3勝(垂水S、調布特別、フラワーC<sup>G3</sup>2着、札幌2歳S<sup>G3</sup>2着、紫苑S<sup>G3</sup>3着、コスモス賞<sup>G3</sup>3着)  
マイネルシュバリエ(12 驢父バトルブランUSA)中央29戦1勝(札幌2歳S<sup>G3</sup>2着、プリンシパルS<sup>G3</sup>3着)  
マイネルラブティス(14 牡父コンデユイトIRE)中央13戦1勝  
ヘリンタリング(16 牡父アイルハヴアナザーUSA)中央10戦1勝  
サンシェ(17 牡父グラスワンダーUSA)中央2戦0勝、地方57戦3勝  
フェアエールング 本馬(20 牝父ゴールドシップ)中央17戦5勝(小倉牝馬S<sup>G3</sup>、STV賞、鉦路温泉特別、利尻特別、福島記念<sup>G3</sup>2着)  
獲得総賞金100,109,000円

※08、19、21、22(不受胎)、13、15(流産)、18、24(前年種付せず)、23(生後直死)

## 祖母マイネミレー

北海道静内町 ビッグレッドファーム生産 中央4勝(早春特別)、03年死亡

マイネカトリヌ(94 牝父トニービンIRE)中央2勝(笹山特別)、マイネルデュブレ(共同通信杯<sup>G3</sup>)、マイネプリンセス(ターコイズS<sup>G3</sup>)の母、マイネルグボン(コスモス賞<sup>G3</sup>)の祖母  
マイネモミゼ(99 牝父ブライアンズタイムUSA)中央2勝(フローラS<sup>G3</sup>2着、オックス<sup>G1</sup>4着)  
マイネボリーヌ(02 前出)

## INTERVIEW

梶名聡ゼネラルマネージャー  
(ビッグレッドファーム)

### さらなるステップアップを期待しています

育成時代から評価は高い馬でしたが、線が細かったので本当に良くなるのは少し先になるだろうと考えていました。新馬戦は能力とポテンシャルだけで勝てたのだと思います。その後、馬体の成長に伴ってレースでも結果を出してくれるようになりました。この勝利をきっかけにさらにステップアップして、秋には大きな舞台で結果を残してくれることを期待しています。

N.Inaba



### アラカルト

- ・丹内祐次騎手はコガネノソラで制した24年クイーンSに続くJRA重賞通算7勝目
- ・和田正一郎調教師はエミューで制した23年フラワーCに続くJRA重賞通算22勝目
- ・ゴールドシップ産駒はJRA重賞通算12勝目
- ・JRA重賞での1着同着は21年チューリップ賞(メイケイエール、エリザベスタワー)に続く通算12回目(グレード制導入以降は通算8回目)

昨年までは1月に行われていた愛知杯を3月に移設し、別定の牝馬短距離重賞にリニューアル。かわりに愛知杯の設定(牝馬限定、ハンデ、芝2000m)を引き継ぎ、冬の小倉開催の開幕を飾る重賞として新設された小倉牝馬Sは、初代のウイナーに2頭の馬がその名を刻んだ。JRA重賞史上、通算12回目の「1着同着」で勝利を分けたのは、7番人気のフェアエールングと3番人気のシンティレーション。ともに今回が重賞初制覇で、第1回のレースを「喜びの二重奏」が彩った。逃げ候補が散在し、注目された主導権争いは2番枠を引いたベリーヴィーナスに軍配。17番枠から様子を見るように飛び出したアリスヴェリテは競り合いを嫌って2番手に控えたものの、前半1000mの通過は57秒7とかなり速いラップが刻まれていく。1番人氣に支持された重賞2勝馬クイーンズウォークは中団につけ、フェアエールングの丹内祐次騎手はマークするようにその直後を追走。シンティレーションの杉原誠人騎手は後方のインで脚を溜め、格上挑戦ながら2番人氣の支持を集めたオーロラエックスも後方馬群の一角で末脚勝負に構えた。失速した逃げ馬をかわしたコンクシエルに、早めに進出したクイーンズウ

初代ウイナーに2頭がその名を刻む



シンティレーション *Scintillation*

牝 黒鹿毛 2019.1.15生  
 北海道安平町 ノーザンファーム生産  
 馬主・南シルクレーシング 美浦・池上昌和厩舎  
 馬名意味・閃光。母名より連想

パーソナルファイルIRE系 F23-b

ロードカナロア 鹿毛 2008	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	レディブラッサム 鹿毛 1996	Storm Cat サトガデュースUSA
ファシネートダイア 鹿毛 2009	アグネスタキオン 栗毛 1998	サンデーサイレンスUSA アグネスフローラ
	トコア 黒鹿毛 1997	カーネギーIRE パーソナルファイルIRE

5代までのインブリード：Northern Dancer S 5×M 5

## 父ロードカナロア

北海道新ひだか町 ケイアイファーム生産 詳細はP.10参照

## 母ファシネートダイア

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央14戦1勝、地方2戦2勝  
 キュービッドアロー(15 牝父ディーブプリランテ)中央3戦0勝  
 (16 不受胎)

ファシネートゼット(17 牝父ヘニーヒューズUSA)中央24戦4勝(桶狭間S)、  
 地方1戦0勝(兵庫ジュニアグランプリJbⅡ3着)

ブライトギフト(18 牡父エビファネイア)中央2戦2勝、地方3戦0勝

**シンティレーション** 本馬(19 牝父ロードカナロア)中央16戦5勝(小倉牝馬  
 S<sub>G</sub>Ⅲ、新潟日報賞、東雲賞、若竹賞、アイルランドトロフィー府中牝馬  
 S<sub>G</sub>Ⅱ2着、フラワーC<sub>G</sub>Ⅲ3着) 獲得総賞金133,126,000円

ジェモロジー(20 牝父ハービンジャーGB)中央15戦2勝(忘れな草賞・L3着)㊟

ホウオウルーセント(21 牝父ルーラーシップ)中央1戦0勝

イムホテブ(22 牡父ニューイヤーズデイUSA)中央1戦1勝 ㊟

(23 牡父レイデオロ)

(24 牡父サトノクラウン)

## 祖母トコア

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央3勝(S・TV賞)、12年死亡

エッセイスト(03 牡父フレンチデピュティUSA)中央2勝

ダイワタキオン(04 牡父アグネスタキオン)中央0勝、地方2勝

**アドマイヤコマンド**(05 騾父アグネスタキオン)中央2勝(青葉賞JbⅡ、毎日  
 杯JbⅢ2着、都大路S<sub>P</sub>2着)、障害1勝

ビーライト(07 牡父サクラバクシンオー)中央0勝、地方2勝

インナージョイ(08 牡父スペシャルウィーク)中央1勝(すみれS<sub>P</sub>3着)

ファシネートダイア(09 前出)

カラーパープル(12 牝父ダイワメジャー)地方1勝

## 曾祖母パーソナルファイルIRE

不出走。96年輸入、03年輸出(豪)

トコア(97 前出)

テイクワンズアイ(98 牝父サンデーサイレンスUSA)中央3勝(登別特別)

シャドウファール(01 牝父フジキセキ)中央1勝、地方0勝

## 四代母ベアサイドUSA

北米23勝(アクサベンクイーンズHG<sub>3</sub>2回、キヴィラH、キヴィラS、アク  
 サーベンオークス、ジェームズヘルプヴォーマイルH、A.C.E.S 2回、ゴー  
 ルデンロッドH 2回、ゴールデンロッドS、ブラックキャニオンH、モリーバ  
 トラーH、スーザンズガールH、アクサベンプリンセスS、コーンハスカー  
 HG<sub>2</sub>2着、アクサベンクイーンズHG<sub>3</sub>3着、シルヴァーベルズHG<sub>3</sub>3着)、95  
 年輸入、00年死亡、**リンドシェーパーUSA**(朝日杯3歳S<sub>G</sub>Ⅰ、ヒヤシンスS<sub>P</sub>、  
 クローバー賞<sub>P</sub>、弥生賞<sub>G</sub>Ⅱ2着、函館3歳S<sub>G</sub>Ⅱ2着、最優秀2歳牡馬)の母、**オ  
 ーミリス**(小倉2歳S<sub>G</sub>Ⅲ)、マクプロトン(スパーキングサマーC)、マツノ  
 ショウマ(百万石賞、ゴールドジュニア、ヤングチャンピオン)の祖母

## INTERVIEW

佐藤洋輔 調教主任(ノーザンファーム早来)

## 引退前に重賞を勝てて良かったです

2歳時から頭角を現してはいましたが、育成時の印象からすると、古馬になってからさらに良くなったと思っていました。安定感はある一方で歯がゆいレースも続いていた中、末脚を生かすレースが確立されたのが、2着となった昨年の府中牝馬Sとなりました。今回はゴール前でやられたと思いましたが、よく粘ってくれました。引退を前に重賞を勝てて良かったです。

S.Suzuki



## アラカルト

- ・杉原誠人騎手はエビファニーで制した24年小倉大賞典に続くJRA重賞通算4勝目
- ・池上昌和調教師はホウオウエミーズで制した23年福島記念に続くJRA重賞通算2勝目
- ・ロードカナロア産駒はJRA重賞通算80勝目

オークも続いた4コーナー。内々を回ってポジションを上げたシンティレーションは追い出されてからもしっかりと伸び、先に抜け出したクイーンズウオークに襲い掛かる。勝負どころで少し前に離れたフェアエールンクも、直線に向くとしつと末脚を繰り出して反撃し、シンティレーションと鼻面を並べてゴール。長い写真判定の結果、勝利の軍配は両馬にあがった。

ゴールドシップ産駒のフェアエールンクは3歳時の夏に1、2勝クラス特別を連勝。気難しい一面があり、昇級後はしばらく凡走が続いたものの、昨年7月に3勝クラスを卒業すると、続く福島記念でも牡馬勢に伍して2着に追い込んだ。比較的、時計がかかる決着は3歳時の夏に1、2勝クラス特別を連勝。気難しい一面があり、昇級後はしばらく凡走が続いたものの、昨年7月に3勝クラスを卒業すると、続く福島記念でも牡馬勢に伍して2着に追い込んだ。続くエリザベス女王杯は直線で進路が狭くなり、またもにブレイキを踏まれた不利が響いて10着に終わったものの、この日はソツのないリードに依って持ち前の末脚をフルに発揮。所属クラブの規定により3月に迫っている引退を前に、とりわけ嬉しい初のタイトルを掴み取った。